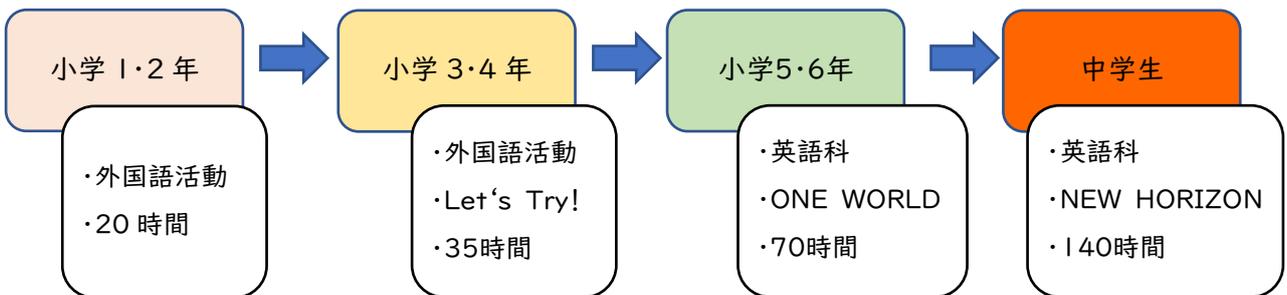


嵯峨島小学校の外国語活動・英語教育について

五島市では離島であることから、外国の文化や言語にふれる機会があまりありません。しかし、世界は急速にグローバル化が進んでいます。そこで、五島市では、グローバル社会で通用する力を身につけるために、1年生からの早期英語教育に取り組んでいます。

嵯峨島小学校の子供たちは、毎週水曜日をイングリッシュデーに設定し、朝の会や帰りの会、校内放送も英語で行っています。また、水曜日の業間の時間のハッピータイムでは、ALTと一緒にゲームをしながら英語に親しんでいます。

嵯峨島小学校の英語教育の流れ



学校評価

英語教育に関する学校評価アンケート(令和4年度実施)

○子供たちは、習った英語を日常生活の中で使ってみようとしている。

	保護者	児童生徒	教職員
7月	3.3	4.0	3.3
12月	3.3	3.7	3.1

※昨年度(4段階評価)

英語教育の成果と課題

成果

- 低学年からの積み重ねにより、語彙が増えてきているため、表現が豊かになってきている。
- 極小規模校であるため、一人ひとりに合わせた個別の指導を行うことができた。

課題

- 相手意識を高める取組の工夫が必要。
- 学習した英語を日常的に使えるようになるまでの手立てが必要。

学習の様子

ハッピータイム(業間の時間)

語彙力アップ



ゲームで親しむ



授業の様子

個別指導

